

第三十四回大会

ドイツ現代史学会

2011年9月17日(土) 14:00-18:00 (受付開始 13:30)
9月18日(日) 9:00-18:00 (受付開始 8:30)

会場: 東京大学駒場キャンパスI 18号館ホール

参加費: 一般2000円(院生・学生1000円)/要事前申込

詳細は「<http://wwwsoc.nii.ac.jp/ssmgh/gakkai.html>」をご参照下さい。

9月17日(土) 14:00-18:00 小シンポジウム 東西ドイツ社会の社会国家性—中間団体の視点から

問題提起: 辻 英史(法政大学)
「第二次ドイツ社会国家群?—社会国家の連続と不連続について

中野智世(京都産業大学)
西ドイツ社会国家における民間福祉団体—1950年代のカリタス連盟を例として

川越 修(同志社大学)
旧東ドイツに中間団体は存在したか?—人民連帯の活動をめぐって

コメント: 金澤周作(京都大学) 司会: 辻 英史(法政大学)

9月18日(日) 9:00-12:00 若手フォーラム

北村 厚(東京大学・研究生)
「パン・ヨーロッパ」論における非ヨーロッパ

近藤正基(大阪市立大学)
戦後ドイツの福祉政治

福永美和子(東京大学)
国際刑事裁判所(ICC)・国際刑事司法をめぐるドイツの外交・司法政策
—「過去の克服」との連関を視野に入れて

司会: 石田勇治(東京大学)

13:30-18:00 シンポジウム 日独同時通訳付 ドイツ近現代史における市民社会と暴力

導入: 西山暁義(共立女子大学)
「文明化」と「野蛮化」?—ドイツ近現代史における市民社会と暴力

ヘルムート・ヴァルザー・スミス(米国・ヴァンダービルト大学)
ドイツ社会における暴力

ミヒャエル・ヴィルト(ベルリン・フンボルト大学)
「自己への権限付与」としての民族共同体
ナチ・ドイツにおけるユダヤ人に対する日常的暴力

コメント: 木村靖二(立正大学)・一ノ瀬俊也(埼玉大学)

【共催】

日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B) 市民社会と暴力、市民社会の暴力—ドイツ・ヨーロッパ近代史再考
日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B) 戦後西ドイツにおける「社会国家性」の歴史的展開—家族をめぐる「包摂」と「排除」
日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(A) 近代世界におけるジェノサイドの現象に関する歴史学的研究
東京大学大学院総合文化研究科附属グローバル地域研究機構ドイツ・ヨーロッパ研究センター(DESK)

【お問い合わせ先】

東京大学大学院総合文化研究科附属グローバル地域研究機構ドイツ・ヨーロッパ研究センター(DESK)
東京都目黒区駒場3-8-1 東京大学大学院総合文化研究科・教養学部9号館313号室
TEL: 03-5454-6112 E-Mail: gendaishigakkai2011@gmail.com
URL: <http://desk.c.u-tokyo.ac.jp/>・<http://wwwsoc.nii.ac.jp/ssmgh/gakkai.html>